

日本学術会議 言語・文学委員会
古典文化と言語分科会(24期・第5回)議事要旨

開催日時 令和元年8月1日(木)11:00～12:20

場所 日本学術会議5-A(2)会議室

出席者：安藤宏、大芝芳弘、小倉孝誠、木田章義、久木田直江、倉員正江、高橋宏幸、
田邊玲子、三宅晶子、山田俊治、渡部泰明

欠席者：川合康三、桑川麻里生、佐藤利行、西村賀子

【議事内容】

- 前回議事要旨の確認・承認
- 高等学校における国語教育の現状と展望に関する参考意見を、下記の二名から聴収した。
 - ※大滝一登（参考人、文部科学省初等中等教育局視学官）
 - ※大森秀治（参考人、前灘中学校高等学校教頭）
- 二名の意見を踏まえ、本日開催の公開シンポジウム「国語教育の将来—新学習指導要領を問う」のための協議を行った。
- 当分科会として第24期における提言を提出することを確認した。提言の文案作成のため、本日のシンポジウムを踏まえたレポートを提出するなど、各委員が何らかのかたちで協力することとした。
- 次回の分科会は、12月22日(日)に慶應義塾大学三田キャンパスにて開催する予定（ただし変更の可能性あり）。

以上